

令和4年8月18日～19日 未来創造プログラム

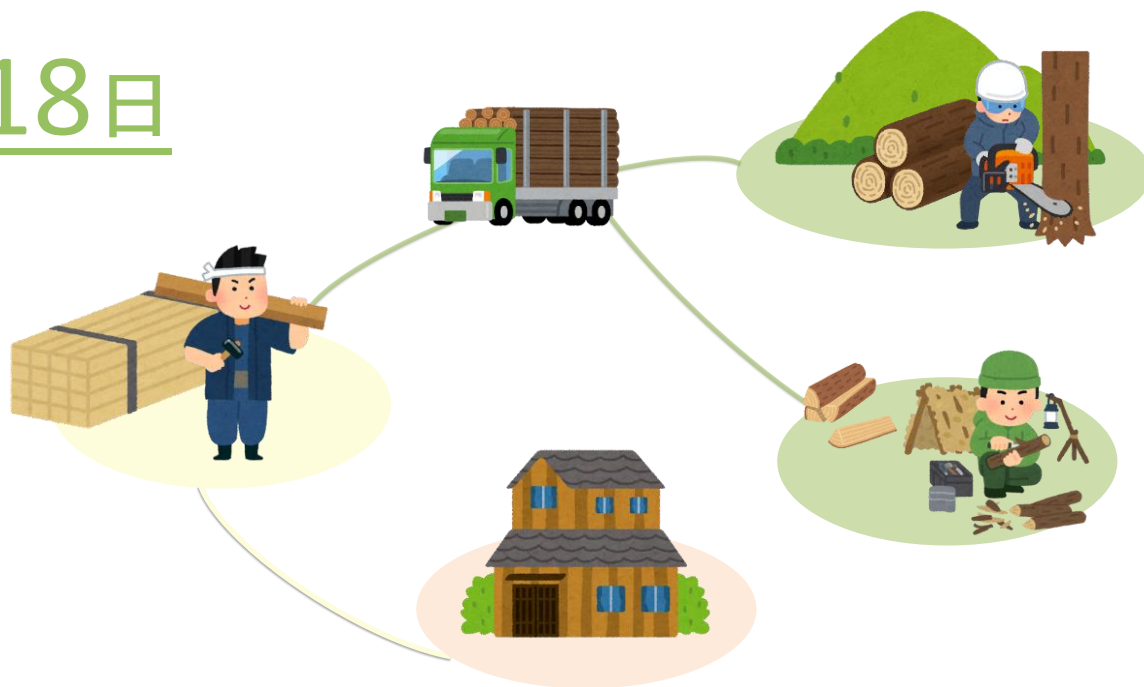


実施報告書

作成：参加学生一同

1

18日



2

加工場見学



こんな端材を木工用ボンドで
貼り合わせると・・・

カヌーに！
→



←キャンプ軽トラ！
フレームがアルミになっていて
軽量化されている。
完全オーダーメイドなのに格安
価格。

小野さんの秘密基地のサウナ→
モバイル式で組み立ても簡単！



3

木材の養生場所見学

間伐材の活用

- ・間伐材などを薪にして、村の高齢者福祉施設、役場の薪ボイラー用に。
- ・1人キャンプ用の薪として一般にも販売。



建築材の管理

- ・製材所での人工乾燥後に搬入。
- ・邸宅別生産管理＝工務店と個別の事業管理。
- ・どこの山でこの木は取れるか(木拾い)を
考えて林業ができる。



建築の現場と木材搬出の現場が繋がっている！



4

伐採地の見学

- ・皆伐の現場。大型木造施設のため。
- ・伐採方法と伐採作業時の注意点について学ぶ。
- ・この風景を見て、何を感じるか？



5

19日



6

山地酪農の見学



幸山明良さん

幸せに挑戦し続ける男

- ・岐阜県瑞浪市出身で、5年前根羽村に移住。
- ・牛を牧草地に放し自然に近い状態で飼養する、「山地酪農」に取り組んでいる。
- ・牛が下草を食べてくれるので下草刈りの手間が省けるし、獣害対策にもなっている。
- ・植物や菌類、コケ類などにも興味を持つ。
- ・家畜たちは森林を共に管理する仲間。決して見下さない。

7

製材所の見学



- ・伐採された丸太が運ばれる。
- ・皮をむく、板にする、節を埋める、乾燥させる...などの加工がおこなわれる。

- ・木を無駄なく使う。人工乾燥のためのボイラーは、木の皮など製材の残渣を活用。



8

根羽村森林組合の取り組み

「根羽村トータル林業」

- ・根羽村の木を中心に繋がりが生まれている。
- ・新たな人、場所、機会との繋がりを「妄想」して、挑戦を続けている。

- ・木は他と比べて身近な材料。
- ・木造建築や木工製品は、自然と離れた都市でも自然とつながる重要な機会。



9

ねばのもり杉山さんの取り組み

- ・素晴らしい取り組みが持続できる、評価されるように発信。
- ・「コミュニティビジネス」とは...
村で余っているヒト、モノ、場所

困りごと、挑戦してみたいこと を繋ぐ仕事。



- ・「くりや」は場所と設備を提供することで、村の人が集まれる、挑戦できる機会を作る
- ・共助のための場所。

10

根羽村役場見学



役場エントランス



市議会会場

- ・鉄筋コンクリート造の高齢者デイサービス施設をリノベーション、役場として活用している。
- ・内装には根羽杉がふんだんに使われている。
- ・リノベーション時に個室部分の壁をなくすことで、開放的な大空間をつくっている。職員との距離感が物理的にも近く感じられ、親しみを感じられる空間となっている。
- ・窓サッシの内装側には木を使用されており、結露を防ぐ作用がある。木の性質をうまく利用している。
- ・柱部分は木の色と調和するよう白色を使っている。
- ・エントランス部分の大窓のサッシには、川上村のカラマツが使われている。(根羽村・川上村の役場にはお互いの村の木を使おう！という試みがされている。)
- ・大窓前には地元の小学生とデザイナーが共同でデザインした家具が設置されている。小学生が身の回りの人たちにインタビューをして調査をしたそう。
- ・市議会場では壁・天井に杉板を貼ることで音が響かないよう設計されている。デザイン的にもスタイリッシュで、他の部屋にもない意匠なので気が引き締まりそう。

11

根羽村の皆様

2日間、大変お世話になりました。今回が2度目の企画になりましたが、前回からさらに発展した「木のつながり」について学ばせていただきました。貴重なお時間を割いて最大限のご対応をいただき、ありがとうございました。

ご支援いただいたサポーターの皆様

企画や調整、なにより根羽村の皆様のことをご紹介していただきありがとうございました。

12